

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年12月11日

日東電工健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	61954
組合名称	日東電工健康保険組合
形態	単一
業種	化学工業・同類似業

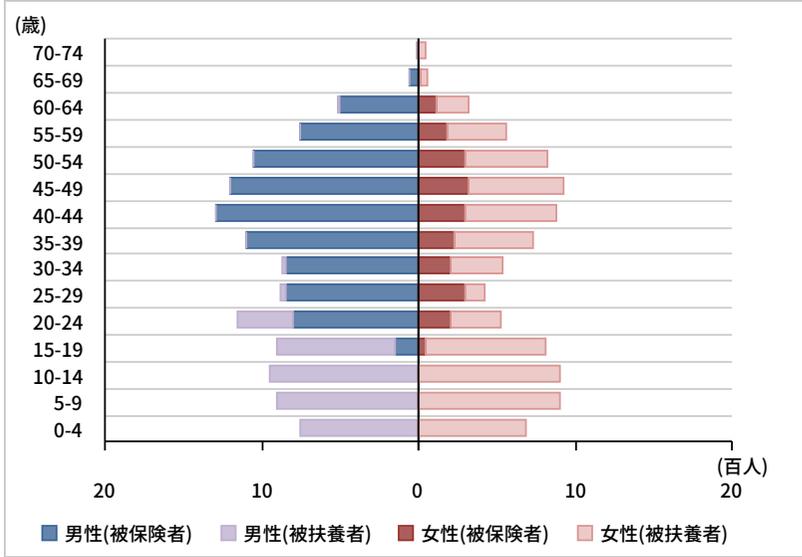
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	10,600名 男性79.6% (平均年齢41.4歳) * 女性20.4% (平均年齢40.8歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	21,355名	-名	-名
適用事業所数	18カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	18カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	93%o	-%o	-%o

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-
事業主	産業医	4	15	-	-	-	-
	保健師等	18	0	-	-	-	-

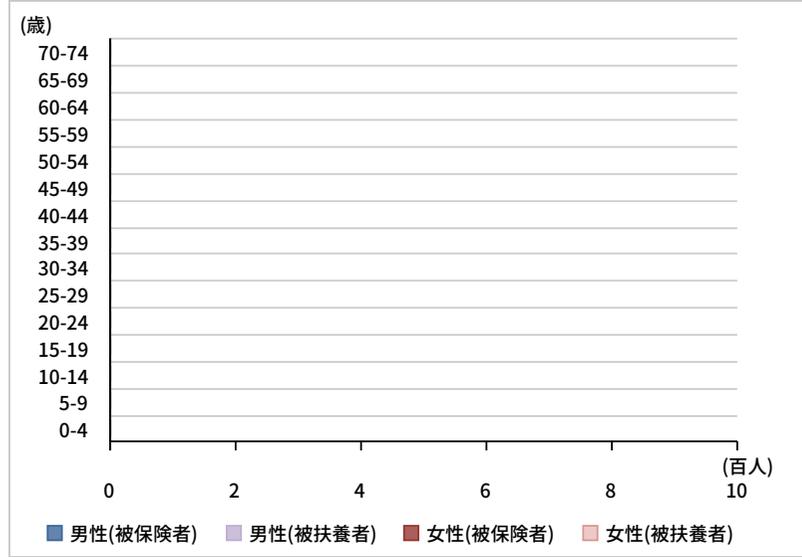
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	7,177 / 8,347 = 86.0 %	
	被保険者	5,778 / 5,962 = 96.9 %	
	被扶養者	1,399 / 2,385 = 58.7 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	570 / 1,366 = 41.7 %	
	被保険者	567 / 1,242 = 45.7 %	
	被扶養者	3 / 124 = 2.4 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	33,000	3,113	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	24,800	2,340	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	5,794	547	-	-	-	-
	疾病予防費	259,075	24,441	-	-	-	-
	体育奨励費	1	0	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	3	0	-	-	-	-
	小計 …a	322,673	30,441	0	-	0	-
経常支出合計 …b	7,612,416	718,152	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	4.24		-	-	-	-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	150人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	800人	25～29	850人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	850人	35～39	1,100人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,290人	45～49	1,200人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,050人	55～59	750人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	500人	65～69	60人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	5人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	50人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	200人	25～29	300人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	200人	35～39	230人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	300人	45～49	320人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	300人	55～59	180人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	110人	65～69	10人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	750人	5～9	900人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	950人	15～19	750人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	350人	25～29	40人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	20人	35～39	5人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1人	45～49	1人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	5人	55～59	5人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	10人	65～69	3人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	10人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	690人	5～9	900人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	900人	15～19	760人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	320人	25～29	120人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	330人	35～39	500人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	580人	45～49	600人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	520人	55～59	380人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	200人	65～69	50人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	50人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- 男女比は80:20と圧倒的に男性の被保険者が多い。扶養率は1.02人で男女比は35:65と女性比率が高い。
- 被保険者の構成は40歳～44歳が15%を占め一番高い。次いで45歳～49歳、50歳～54歳と続く。
- 被扶養者は5歳～9歳が17%と一番高く、次いで10歳～14歳、15歳～19歳と続く。
- 20歳以上の被扶養者は45歳～49歳が5.7%、40歳～44歳が5.4%で99%が女性。
- 特定健診は、被保険者は高い実施率。⇒Casioからの返答を待って再作成
- 特定保健指導は、特に被扶養者の実施率が低い⇒Casioからの返答を待って再作成
- 疾病予防費や保健指導宣伝費など経年的な施策の費用対効果を確認することが困難

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

過去実施した各種保健事業に関するデータ取得および整理ができておらず、データに基づくPDCA評価が行えていない現状があることを前提とし、以下記載する。

- ①被保険者と比較して被扶養者の特定健康診査受診率、特定保健指導実施率が低い。
- ②悪性新生物の医療費が上昇傾向にあるが（119分類より抽出）、被保険者、被扶養者別の分析、それに応じた適切な事後フォローが行えていない。
- ③保健事業としてエビデンスに基づくがん検診の検査項目設定ができていない。
- ④前期高齢者の医療費削減に対する予防事業は行っているが、前期高齢者の医療費分析および今後の予測が立てられていない。
- ⑤医療費分析に基づく被扶養者（40歳未満）への保健事業が実施できていない。
- ⑥被扶養者の医療費も歯科が上位を占めているにも関わらず、被扶養者に対する歯科予防事業が行えていない。
- ⑦インフルエンザ予防接種費用補助の費用対効果が確認できていない。
- ⑧健康経営を推進する上で事業主と当組合の情報共有ができておらず、効率的に事業を展開できていない。

事業の一覧

職場環境の整備

予算措置なし	コラボヘルスによる課題対策の立案・実施
--------	---------------------

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	社内イントラにて「女性がん健診」の受診勧奨
--------	-----------------------

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診の受診率向上
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者）の実施率向上
特定保健指導事業	特定保健指導（被扶養者）の実施率向上
保健指導宣伝	前期高齢者の医療費削減
保健指導宣伝	後発医薬品使用促進
疾病予防	被扶養配偶者（40歳未満）の保健事業適正化
疾病予防	歯科健診は実施率向上
疾病予防	インフルエンザの予防接種の実施率向上

事業主の取組

1	定期健康診断
2	健康診断事後措置に伴う個別指導
3	特定保健指導
4	特殊健診
5	特殊健診に伴う個別指導
6	長時間勤務者対応
7	ストレスチェック
8	健康教育
9	健康づくり
10	スポーツクラブの利用
11	健康相談
12	望まない受動喫煙の撲滅

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
予算措置なし	8	コラボヘルスによる課題対策の立案・実施	被保険者・被扶養者を合わせた受診率・2次精査率・医療費が不明のためデータの収集を至急行っていく必要あり、保健師の兼務など横断した人事施策にて対応する。現段階では定例会は1回/週実施。被保険者・被扶養者を合わせた受診率・2次精査率・医療費が不明のためデータの収集を至急行っていく必要あり。アウトプットやアウトカムも事業に対する評価で目標や改善傾向など導き対策を立案・実施する。	-	-	~	-	0-	-	-	-	-
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	2	社内イントラにて「女性ががん健診」の受診勧奨	がん健診の受検勧奨。被保険者は社内イントラで受診勧奨を実施。被扶養者は実態確認を行い、則した対応を検討する。	全て	女性	18~74	被保険者	--	-	-	-	-
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健診の受診率向上	メタボリックシンドロームや高血圧、糖尿病、脂質異常症等の生活習慣病を早期発見し、早期対策に結びつけるために健保内のデータ整備を行う。	全て	男女	40~74	加入者全員	--	-	-	-	-
特定保健指導事業	4	特定保健指導(被保険者)の実施率向上	No1の特定健診の結果に基づき特定保健指導の対象となった被保険者に特定保健指導の受診勧奨を行う。実施機関とコラボして広報活動を強化する。参加率目標55%、実施率50%。	全て	男女	40~74	被保険者	--	-	-	-	-
	4	特定保健指導(被扶養者)の実施率向上	No1の特定健診の結果に基づき特定保健指導の対象となった被保険者に特定保健指導の受診勧奨を行う。現時点で2022年度被扶養者は15.2%(2021年10.5%)は実施完了したかは不明だが「正」のデータとした時、参加率目標30%、実施率50%。	全て	男女	40~74	被扶養者	--	-	-	-	-
保健指導宣伝	4,6,7	前期高齢者の医療費削減	前期高齢者の医療費削減目的としては「前期高齢者の納付金が増加」するため第2期まで利用していた外部委託(訪問・電話相談)の件数が振るわず、2023年は2名まで低下(2022年は35.4%利用率?との申告はあるが内容不明)。報告書についても対象者のリピーターなどは不明。医療費削減のために関わる年齢の再アセスメントと、事業自体の適正化し、前期高齢者の医療費削減に繋げる。	全て	男女	63~74	被扶養者	--	-	-	-	-
	7	後発医薬品使用促進	現状、後発医薬品を利用していない人(がん等は除く)に対して広報活動で、現状データで83%程度数値とされており、1年に1%ずつ増加とし目標値は(+5%)88%とする。	全て	男女	0~74	加入者全員	--	-	-	-	-
疾病予防	3	被扶養配偶者(40歳未満)の保健事業適正化	被扶養者の40歳未満の配偶者へ健診を実施しており、実施率は(昨年度は事業として在宅採血を含んでいたが、それは除外)2022年:43.5%、2021年:46%(データとしてはバイネームではない率)。医療費分析からは健診に関連する予防施策の必要性が乏しいため、今後は保健事業の適正化を図る。	全て	男女	16~39	被扶養者	--	-	-	-	-
	3	歯科健診は実施率向上	歯科については医療費の割合としてもかなり高額、コロナ禍でも医療費が大幅には低下しなかった。(分析待ち)	全て	男女	0~74	被保険者	--	-	-	-	-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	3	インフルエンザの予防接種の実施率向上	インフルエンザの予防接種の2022年2154名の実施。インフルエンザ罹患率や被保険者の休業日数などは現時点では不明。予防接種への投資が發揮している費用対効果を確認するところから開始し、特に被保険者の休業状況に関しては事業主側とのコラボヘルスを進めるデータに活用する。	全て	男女	0～74	加入者全員	-	-	-	-	

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
定期健康診断	安衛法に基づく健診	被保険者	男女	0 ～ 65	受診率約99%	就業時間内に受診	早期受診完了への取組み	有
健康診断事後措置に伴う個別指導	受診勧奨及び治療状況把握、保健指導。就業制限等の検討。	被保険者	男女	0 ～ 65	受診勧奨・保健指導等の面接は約98%	毎年の実施により信頼関係を構築し、受診風土が高まった	拠点により理解のばらつき（理解させる工夫不足）医療機関受診率アップ	有
特定保健指導	（健保）より対象者名簿受渡し実施	被保険者	男女	40 ～ 65	一部の事業所にて事業主側保健師が担当	対象者の多面的理解からのアプローチ	事業所保健スタッフのマンパワー不足	有
特殊健診	安衛法に基づく健診	被保険者	男女	0 ～ 65	法に基づき100%実施	就業時間内に受診	環境衛生部門との連携不足	無
特殊健診に伴う個別指導	作業管理・健康管理実施	被保険者	男女	0 ～ 65	法に基づき100%実施	就業時間内に受診	作業管理に反映されていない拠点あり。担当者の理解不足（理解させる工夫不足）	無
長時間勤務者対応	安衛法に基づく面接指導	被保険者	男女	0 ～ 65	毎月100%実施	就業時間内に受診	部署が固定化のケース有り	無
ストレスチェック	ストレスへの気付き・職場環境改善	被保険者	男女	0 ～ 65	1回/年：定期健康診断時に同時実施。実施率約93%。	制度導入前の2010年よりメンタルチェック実績があり、受検風土が継続	職場環境改善への取組み	無
健康教育	①がん、喫煙、生活習慣病、メンタルヘルス等の研修会開催 ②健康情報を発信	被保険者	男女	0 ～ 65	①合計2～4回/年 ②毎月～隔月	①一部就業時間内に実施。希望に反映させた企画 ②紙・データ両方の媒体使用	拠点により取組みにばらつき	無
健康づくり	ウォーキングイベント、体組成測定会、禁煙マラソン、ヨガ教室、太極拳教室等開催	被保険者 被扶養者	男女	0 ～ 74	合計1～4回/年	希望に反映させた企画	拠点により取組みにばらつき。参加者が固定化しているケースもある	無
スポーツクラブの利用	福利厚生の一環で、従業員および家族は安価でスポーツクラブを利用できる	被保険者 被扶養者	男女	- ～ -	年間を通じて随時	個人で個別に契約するより安価で施設を利用できる。	利用者が固定化しているケースがある。	無
健康相談	福利厚生の一環で、従業員および家族は、電話やメールによる健康相談を利用できる。メンタルヘルスも相談可能。	被保険者 被扶養者	男女	- ～ -	年間を通じて随時	無料で利用できる	告知が不十分で、この事業を知らない者がいる	無
望まない受動喫煙の撲滅	喫煙場所を分離・限定して、分煙を100%完全実施	被保険者	男女	20 ～ （上限なし）	全事業者で実施	-	-	無

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		診療区分別医療費の三要素	医療費・患者数分析	-
イ		年齢階層別医療費	医療費・患者数分析	-
ウ		生活習慣病医療費 医療費三要素	医療費・患者数分析	-
エ		【参考】ジェネリック使用率	その他	-



診療区分別医療費の三要素

Nitto

Innovation for Customers

診療区分別医療費の三要素 令和3・4年度

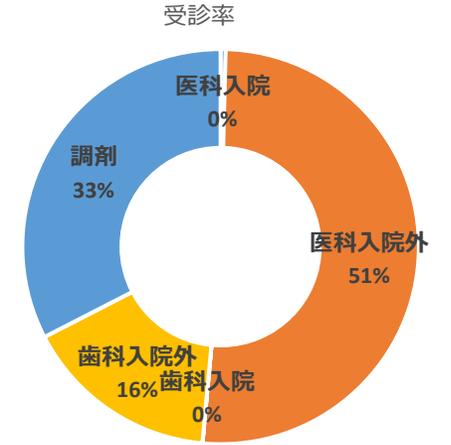
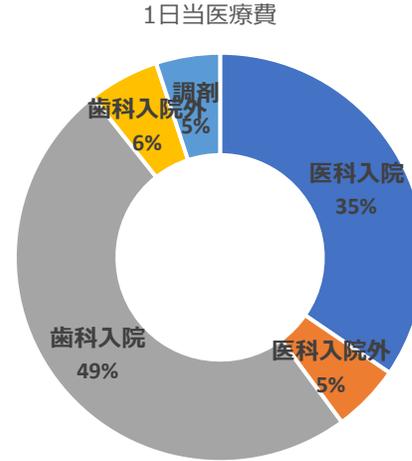
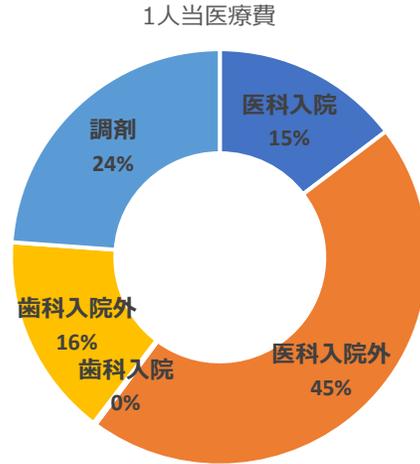
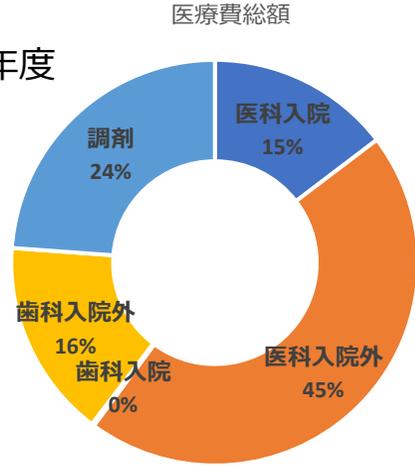
令和4年度診療区分	本人+家族 【%は対前年度比率】									
	医療費総額 (円)		一人当医療費 (円)		受診率 (1,000人当たり件数)		1件当日数 (日)		1日当医療費 (円)	
総額	107.8%	2,777,947,850	108.4%	131,048	108.8%	11,565.5	98.5%	1.31	101.7%	8,661
医科 計	111.1%	1,722,451,860	111.8%	81,255	109.8%	6,006.1	97.9%	1.37	104.2%	9,861
医科・入院	103.9%	392,083,200	104.5%	18,496	95.7%	41.7	98.7%	8.29	110.6%	53,563
医科・入院外	113.5%	1,330,368,660	114.1%	62,759	109.9%	5,964.5	97.8%	1.32	105.8%	7,950
歯科 計	102.6%	423,732,770	103.2%	19,989	101.9%	1,730.3	97.9%	1.4	103.8%	8,268
歯科・入院	203.4%	10,573,510	204.5%	499	148.5%	1.5	100.3%	3.58	137.4%	95,257
歯科・入院外	101.3%	413,159,260	101.9%	19,490	101.9%	1,728.8	97.9%	1.4	102.6%	8,079
調剤	102.8%	631,763,220	103.4%	29,803	110.6%	3,829.1	99.2%	1.17	94.2%	6,662

令和3年度診療区分	診療区分別医療費の三要素 本人+家族 【%は対前年度比率】									
	医療費総額 (円)		一人当医療費 (円)		受診率 (1,000人当たり件数)		1件当日数 (日)		1日当医療費 (円)	
総額	104.0%	2,577,410,820	104.0%	120,875	107.7%	10,628.7	97.8%	1.33	98.0%	8,520
医科 計	102.1%	1,550,030,530	102.2%	72,693	107.3%	5,469.5	98.6%	1.40	96.0%	9,462
医科・入院	79.2%	377,397,440	79.2%	17,699	84.8%	43.5	95.4%	8.40	97.9%	48,440
医科・入院外	112.7%	1,172,633,090	112.7%	54,994	107.6%	5,426.0	100.8%	1.35	104.2%	7,516
歯科 計	103.9%	412,900,850	103.9%	19,364	107.0%	1,697.7	95.3%	1.43	101.9%	7,963
歯科・入院	71.4%	5,198,670	71.6%	244	80.8%	1.0	86.7%	3.57	101.9%	69,316
歯科・入院外	104.5%	407,702,180	104.5%	19,120	107.0%	1,696.8	95.3%	1.43	102.4%	7,874
調剤	108.9%	614,479,440	108.9%	28,818	108.7%	3,461.5	100.0%	1.18	100.7%	7,076

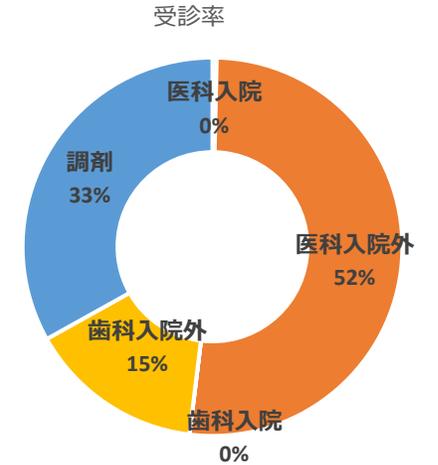
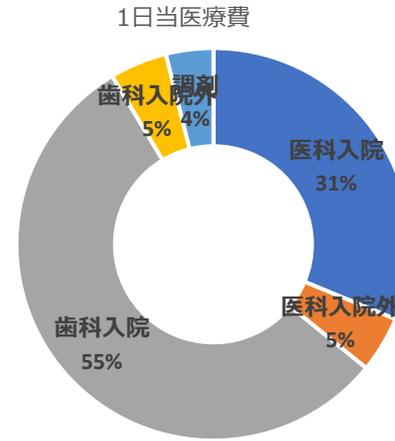
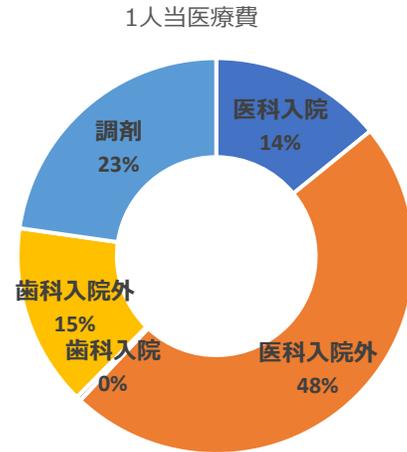
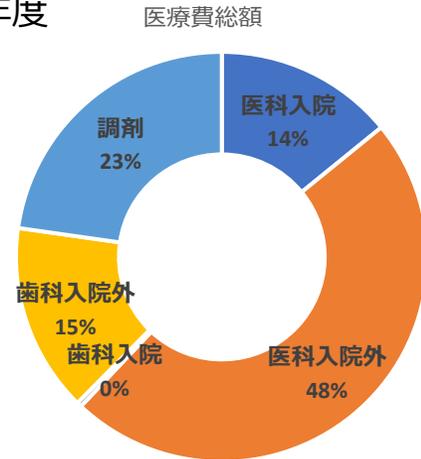
医療費総額は前年度に比べ7.8%増加した。

診療区分別医療費の三要素② 令和3・4年度

令和3年度



令和4年度



21年度と22年度を比較して、歯科入院の1日当たりの医療費割合が増加。他は大きな変化は見られない。

疾病19分類別 医科入院三要素 男性本人

疾病 19分類	本人/男性【入院】								
	医療費総額 (円)	医療費割合	1人当たり医療費(円)	受診率	1件当たり日数(日)	1日当たり医療費(円)	件数	日数	受診者数
01.感染症・寄生虫症	1,067,290	0.88	128	0.1199	25	42,692	1	25	1
02.新生物	26,619,590	21.87	3,193	3.4785	9.9	92,751	29	287	29
03.血液・造血器・免疫障害	0	0	0	0	-	-	0	0	0
04.内分泌・栄養・代謝疾患	1,088,420	0.89	131	0.3598	7	51,830	3	21	3
05.精神・行動障害	4,945,770	4.06	593	1.4394	27.08	15,218	12	325	12
06.神経系疾患	6,332,110	5.2	760	2.0391	4.47	83,317	17	76	17
07.眼・付属器疾患	2,132,580	1.75	256	0.5997	4.8	88,858	5	24	5
08.耳・乳様突起疾患	192,670	0.16	23	0.1199	5	38,534	1	5	1
09.循環器系疾患	26,315,640	21.62	3,156	4.0782	12.24	63,259	34	416	33
10.呼吸器系疾患	9,566,340	7.86	1,147	2.279	8.11	62,119	19	154	19
11.消化器系疾患	16,212,890	13.32	1,945	4.9178	6.68	59,171	41	274	41
12.皮膚・皮下組織疾患	686,920	0.56	82	0.3598	3.67	62,447	3	11	3
13.筋骨格系・結合組織疾患	9,207,320	7.57	1,104	1.5593	10	70,826	13	130	13
14.腎尿路生殖器系疾患	1,532,430	1.26	184	0.7197	2.33	109,459	6	14	6
15.妊娠・分娩・産じょく	0	0	0	0	-	-	0	0	0
16.周産期発生病態	0	0	0	0	-	-	0	0	0
17.先天奇形変形・染色体異常	0	0	0	0	-	-	0	0	0
18.他に分類されないもの	375,030	0.31	45	0.1199	6	62,505	1	6	1
19.損傷・中毒・外因性	11,847,830	9.73	1,421	2.7588	15.96	32,283	23	367	23

入院の医療費総額では新生物、次いで循環器系が多い

疾病19分類別 医科入院外三要素 男性本人

疾病 19分類	本人/男性【入院外】								
	医療費総額 (円)	医療費割合	1人当たり医療 費(円)	受診率	1件当たり日数 (日)	1日当たり医療 費(円)	件数	日数	受診者数
01.感染症・寄生虫症	11,519,010	2.49	1,382	172.1243	1.38	5,797	1,435	1,987	1,420
02.新生物	38,724,200	8.38	4,645	132.6616	1.47	23,757	1,106	1,630	1,072
03.血液・造血器・免疫障害	627,020	0.14	75	8.2764	1.13	8,039	69	78	69
04.内分泌・栄養・代謝疾患	65,586,400	14.2	7,867	715.6051	1.13	9,747	5,966	6,729	5,890
05.精神・行動障害	28,557,890	6.18	3,425	379.1532	1.52	5,950	3,161	4,800	3,106
06.神経系疾患	24,616,600	5.33	2,953	239.2947	1.2	10,248	1,995	2,402	1,939
07.眼・付属器疾患	27,813,180	6.02	3,336	405.6615	1.11	7,385	3,382	3,766	3,335
08.耳・乳様突起疾患	4,244,580	0.92	509	70.2891	1.25	5,783	586	734	577
09.循環器系疾患	39,511,730	8.55	4,739	529.3271	1.1	8,152	4,413	4,847	4,347
10.呼吸器系疾患	34,686,310	7.51	4,161	510.4954	1.19	6,864	4,256	5,053	4,111
11.消化器系疾患	36,068,860	7.81	4,326	260.8852	1.23	13,529	2,175	2,666	2,119
12.皮膚・皮下組織疾患	20,242,160	4.38	2,428	445.7239	1.19	4,589	3,716	4,411	3,647
13.筋骨格系・結合組織疾患	27,075,650	5.86	3,248	341.8496	1.95	4,881	2,850	5,547	2,776
14.腎尿路生殖器系疾患	11,732,140	2.54	1,407	99.5562	1.25	11,270	830	1,041	811
15.妊娠・分娩・産じょく	0	0	0	0	-	-	0	0	0
16.周産期発生病態	0	0	0	0	-	-	0	0	0
17.先天奇形変形・染色体異常	435,620	0.09	52	4.558	1.18	9,680	38	45	38
18.他に分類されないもの	4,171,070	0.9	500	50.3778	1.19	8,325	420	501	415
19.損傷・中毒・外因性	11,456,490	2.48	1,374	106.6331	2.21	5,839	889	1,962	843

通院の医療費総額では内分泌、栄養、代謝疾患が突出して多い。

疾病19分類別 医科入院三要素 女性本人

疾病 19分類	本人/女性【入院】								
	医療費総額 (円)	医療費割合	1人当たり医療 費(円)	受診率	1件当たり日数 (日)	1日当たり医療 費(円)	件数	日数	受診者数
01.感染症・寄生虫症	1,481,450	4.67	732	1.9753	5.25	70,545	4	21	4
02.新生物	12,553,650	39.6	6,199	12.3457	5.56	90,314	25	139	25
03.血液・造血器・免疫障害	146,130	0.46	72	2.963	4	6,089	6	24	6
04.内分泌・栄養・代謝疾患	74,910	0.24	37	0.4938	2	37,455	1	2	1
05.精神・行動障害	0	0	0	0	-	-	0	0	0
06.神経系疾患	0	0	0	0	-	-	0	0	0
07.眼・付属器疾患	737,960	2.33	364	0.9877	4	92,245	2	8	2
08.耳・乳様突起疾患	188,800	0.6	93	0.4938	3	62,933	1	3	1
09.循環器系疾患	444,600	1.4	220	0.9877	3.5	63,514	2	7	2
10.呼吸器系疾患	4,930,250	15.55	2,435	3.4568	14.57	48,336	7	102	7
11.消化器系疾患	1,674,550	5.28	827	5.4321	4.45	34,174	11	49	11
12.皮膚・皮下組織疾患	61,150	0.19	30	0.4938	2	30,575	1	2	1
13.筋骨格系・結合組織疾患	159,280	0.5	79	0.9877	2.5	31,856	2	5	2
14.腎尿路生殖器系疾患	1,680,960	5.3	830	2.963	3.83	73,085	6	23	6
15.妊娠・分娩・産じょく	5,541,340	17.48	2,736	9.3827	5.26	55,413	19	100	19
16.周産期発生病態	0	0	0	0	-	-	0	0	0
17.先天奇形変形・染色体異常	0	0	0	0	-	-	0	0	0
18.他に分類されないもの	0	0	0	0	-	-	0	0	0
19.損傷・中毒・外因性	1,153,420	3.64	570	1.9753	9	32,039	4	36	4

入院の医療費総額では新生物が多く、次いで妊娠・分娩・産じょくが多い。

疾病19分類別 医科入院外三要素 女性本人

疾病 19分類	本人/女性【入院外】								
	医療費総額(円)	医療費割合	1人当たり医療費(円)	受診率	1件当たり日数(日)	1日当たり医療費(円)	件数	日数	受診者数
01.感染症・寄生虫症	3,040,480	2.06	1,501	201.4815	1.39	5,353	408	568	405
02.新生物	16,013,490	10.84	7,908	398.5185	1.31	15,179	807	1,055	774
03.血液・造血器・免疫障害	973,750	0.66	481	60.7407	1.34	5,902	123	165	120
04.内分泌・栄養・代謝疾患	16,627,590	11.26	8,211	635.5556	1.16	11,107	1,287	1,497	1,273
05.精神・行動障害	7,968,480	5.39	3,935	420.7407	1.3	7,218	852	1,104	843
06.神経系疾患	4,011,980	2.72	1,981	228.642	1.26	6,882	463	583	453
07.眼・付属器疾患	9,290,390	6.29	4,588	649.8765	1.09	6,506	1,316	1,428	1,298
08.耳・乳様突起疾患	1,609,010	1.09	795	98.2716	1.5	5,381	199	299	192
09.循環器系疾患	8,696,730	5.89	4,295	339.7531	1.2	10,554	688	824	677
10.呼吸器系疾患	9,752,610	6.6	4,816	749.1358	1.19	5,382	1,517	1,812	1,455
11.消化器系疾患	12,434,440	8.42	6,140	383.7037	1.18	13,545	777	918	760
12.皮膚・皮下組織疾患	6,494,500	4.4	3,207	653.3333	1.2	4,108	1,323	1,581	1,304
13.筋骨格系・結合組織疾患	9,600,540	6.5	4,741	420.7407	2.08	5,418	852	1,772	821
14.腎尿路生殖器系疾患	16,519,850	11.18	8,158	581.7284	1.34	10,429	1,178	1,584	1,145
15.妊娠・分娩・産じょく	703,230	0.48	347	28.642	1.97	6,169	58	114	53
16.周産期発生病態	53,840	0.04	27	1.4815	2.33	7,691	3	7	3
17.先天奇形変形・染色体異常	439,010	0.3	217	10.3704	1.19	17,560	21	25	20
18.他に分類されないもの	2,099,070	1.42	1,037	120.9877	1.4	6,138	245	342	243
19.損傷・中毒・外因性	2,380,600	1.61	1,176	111.1111	2.02	5,244	225	454	218

通院の医療費総額では内分泌・栄養・代謝疾患、腎尿路生殖器系疾患、新生物の順で多い

疾病19分類別 医科入院三要素 男性家族

疾病 19分類	家族/男性【入院】								
	医療費総額 (円)	医療費割合	1人当たり医療 費(円)	受診率	1件当たり日数 (日)	1日当たり医療 費(円)	件数	日数	受診者数
01.感染症・寄生虫症	150,330	0.24	39	0.2622	2	75,165	1	2	1
02.新生物	4,030,850	6.42	1,057	1.311	4.4	183,220	5	22	5
03.血液・造血器・免疫障害	744,960	1.19	195	0.5244	4.5	82,773	2	9	2
04.内分泌・栄養・代謝疾患	583,850	0.93	153	0.7866	3	64,872	3	9	3
05.精神・行動障害	12,553,980	20	3,292	8.6523	27.42	13,872	33	905	33
06.神経系疾患	997,810	1.59	262	1.5732	2.67	62,363	6	16	6
07.眼・付属器疾患	1,016,790	1.62	267	0.7866	3	112,977	3	9	3
08.耳・乳様突起疾患	504,740	0.8	132	0.2622	5	100,948	1	5	1
09.循環器系疾患	8,916,380	14.2	2,338	1.5732	9.67	153,731	6	58	6
10.呼吸器系疾患	4,395,770	7	1,153	2.6219	5.4	81,403	10	54	10
11.消化器系疾患	2,528,690	4.03	663	1.8353	3.29	109,943	7	23	7
12.皮膚・皮下組織疾患	0	0	0	0	-	-	0	0	0
13.筋骨格系・結合組織疾患	1,876,900	2.99	492	0.7866	12	52,136	3	36	3
14.腎尿路生殖器系疾患	1,271,360	2.03	333	1.0488	4.5	70,631	4	18	4
15.妊娠・分娩・産じょく	0	0	0	0	-	-	0	0	0
16.周産期発生病態	4,017,300	6.4	1,053	2.0975	6.13	81,986	8	49	8
17.先天奇形変形・染色体異常	4,065,490	6.48	1,066	1.311	3.6	225,861	5	18	5
18.他に分類されないもの	1,081,280	1.72	284	1.0488	4.5	60,071	4	18	4
19.損傷・中毒・外因性	8,335,110	13.28	2,185	5.506	5.48	72,479	21	115	21

入院の医療費総額では精神・行動障害が多い。

疾病19分類別 医科入院外三要素 男性家族

疾病 19分類	家族/男性【入院外】								
	医療費総額 (円)	医療費割合	1人当たり医療 費(円)	受診率	1件当たり日数 (日)	1日当たり医療 費(円)	件数	日数	受診者数
01.感染症・寄生虫症	6,835,170	2.88	1,792	243.0519	1.48	4,993	927	1,369	911
02.新生物	2,386,170	1.00	626	26.4814	1.28	18,497	101	129	97
03.血液・造血器・免疫障害	416,300	0.18	109	9.1767	1.51	7,855	35	53	35
04.内分泌・栄養・代謝疾患	5,524,330	2.32	1,448	52.4384	1.22	22,734	200	243	199
05.精神・行動障害	10,635,450	4.47	2,789	320.9229	1.35	6,442	1,224	1,651	1,199
06.神経系疾患	3,225,410	1.36	846	83.9014	1.48	6,819	320	473	290
07.眼・付属器疾患	14,354,210	6.04	3,764	642.108	1.14	5,139	2,449	2,793	2,392
08.耳・乳様突起疾患	5,197,920	2.19	1,363	184.3209	1.28	5,756	703	903	691
09.循環器系疾患	2,534,940	1.07	665	42.2129	1.1	14,322	161	177	154
10.呼吸器系疾患	50,271,840	21.15	13,181	1774.7771	1.34	5,531	6,769	9,089	6,342
11.消化器系疾患	4,705,200	1.98	1,234	127.6875	1.25	7,713	487	610	475
12.皮膚・皮下組織疾患	18,530,210	7.80	4,858	1010.2255	1.19	4,030	3,853	4,598	3,732
13.筋骨格系・結合組織疾患	5,613,560	2.36	1,472	139.4861	1.65	6,386	532	879	516
14.腎尿路生殖器系疾患	1,166,850	0.49	306	39.8532	1.14	6,706	152	174	149
15.妊娠・分娩・産じょく	0	0.00	0	0	-	-	0	0	0
16.周産期発生病態	241,040	0.10	63	4.7195	1.22	10,956	18	22	18
17.先天奇形変形・染色体異常	1,848,340	0.78	485	31.7252	1.13	13,492	121	137	119
18.他に分類されないもの	3,807,820	1.60	998	95.1757	1.18	8,855	363	430	356
19.損傷・中毒・外因性	16,970,400	7.14	4,450	379.3917	1.79	6,540	1,447	2,595	1,372

医療費総額等、乳幼児及び未就学児童がほとんどを占めることから、呼吸器疾患が上位を占めている。

疾病19分類別 医科入院三要素 女性家族

疾病 19分類	家族/女性【入院】								
	医療費総額 (円)	医療費割合	1人当たり医療 費(円)	受診率	1件当たり日数 (日)	1日当たり医療 費(円)	件数	日数	受診者数
01.感染症・寄生虫症	597,390	0.45	85	0.5697	3.25	45,953	4	13	4
02.新生物	30,467,330	22.92	4,339	6.2669	7.8	88,826	44	343	44
03.血液・造血器・免疫障害	1,378,100	1.04	196	1.8516	4.23	25,056	13	55	13
04.内分泌・栄養・代謝疾患	3,520,930	2.65	501	1.4243	8.3	42,421	10	83	10
05.精神・行動障害	10,832,620	8.15	1,543	2.7062	24.26	23,498	19	461	19
06.神経系疾患	6,289,200	4.73	896	1.994	9.36	48,009	14	131	14
07.眼・付属器疾患	2,586,850	1.95	368	1.1394	3.5	92,388	8	28	8
08.耳・乳様突起疾患	374,810	0.28	53	0.1424	3	124,937	1	3	1
09.循環器系疾患	10,277,770	7.73	1,464	1.8516	11.23	70,396	13	146	13
10.呼吸器系疾患	6,591,680	4.96	939	1.994	7.36	63,997	14	103	14
11.消化器系疾患	8,652,780	6.51	1,232	4.8426	4.59	55,467	34	156	34
12.皮膚・皮下組織疾患	267,000	0.2	38	0.5697	1	66,750	4	4	4
13.筋骨格系・結合組織疾患	2,878,660	2.17	410	0.4273	14.33	66,946	3	43	3
14.腎尿路生殖器系疾患	5,084,520	3.83	724	2.1364	4.67	72,636	15	70	15
15.妊娠・分娩・産じょく	14,988,670	11.28	2,135	6.5518	8.37	38,932	46	385	46
16.周産期発生病態	3,578,990	2.69	510	0.5697	10.75	83,232	4	43	4
17.先天奇形変形・染色体異常	3,672,470	2.76	523	0.8546	7.5	81,610	6	45	6
18.他に分類されないもの	1,769,760	1.33	252	0.8546	5.5	53,629	6	33	6
19.損傷・中毒・外因性	11,093,820	8.35	1,580	4.7002	5.06	66,430	33	167	33

入院の医療費総額では新生物が多い。次いで妊娠・分娩・産じょくが多い。

疾病19分類別 医科入院外三要素 女性家族

疾病 19分類	家族/女性【入院外】								
	医療費総額 (円)	医療費割合	1人当たり医療 費(円)	受診率	1件当たり日数 (日)	1日当たり医療 費(円)	件数	日数	受診者数
01.感染症・寄生虫症	12,445,550	2.62	1,773	243.9823	1.41	5,143	1,713	2,420	1,685
02.新生物	38,128,980	8.03	5,431	222.0481	1.36	17,943	1,559	2,125	1,491
03.血液・造血器・免疫障害	4,503,850	0.95	641	44.4381	1.46	9,855	312	457	310
04.内分泌・栄養・代謝疾患	30,527,200	6.43	4,348	370.3176	1.19	9,905	2,600	3,082	2,533
05.精神・行動障害	17,220,750	3.63	2,453	276.7412	1.47	6,021	1,943	2,860	1,920
06.神経系疾患	9,742,250	2.05	1,388	149.6938	1.34	6,900	1,051	1,412	1,028
07.眼・付属器疾患	32,290,740	6.8	4,599	716.707	1.11	5,759	5,032	5,607	4,927
08.耳・乳様突起疾患	9,052,650	1.91	1,289	170.3461	1.34	5,630	1,196	1,608	1,162
09.循環器系疾患	16,248,610	3.42	2,314	205.9536	1.23	9,123	1,446	1,781	1,424
10.呼吸器系疾患	61,286,140	12.91	8,729	1,184.45	1.34	5,487	8,316	11,169	7,828
11.消化器系疾患	24,758,410	5.22	3,526	258.9375	1.32	10,351	1,818	2,392	1,781
12.皮膚・皮下組織疾患	27,978,810	5.89	3,985	811.138	1.19	4,127	5,695	6,780	5,492
13.筋骨格系・結合組織疾患	31,877,170	6.72	4,540	330.01	2.03	6,782	2,317	4,700	2,248
14.腎尿路生殖器系疾患	28,737,050	6.05	4,093	296.2541	1.53	9,014	2,080	3,188	2,027
15.妊娠・分娩・産じょく	1,056,170	0.22	150	18.5159	1.66	4,890	130	216	130
16.周産期発生病態	808,710	0.17	115	4.1305	1.83	15,259	29	53	29
17.先天奇形変形・染色体異常	3,545,370	0.75	505	22.0766	1.1	20,855	155	170	153
18.他に分類されないもの	8,827,820	1.86	1,257	128.0444	1.24	7,917	899	1,115	886
19.損傷・中毒・外因性	16,947,850	3.57	2,414	211.7932	1.84	6,201	1,487	2,733	1,427

通院では乳幼児及び未就学児童がほとんどを占めることから、医療費総額では呼吸器疾患が上位を占めている。



年齡階層別医療費

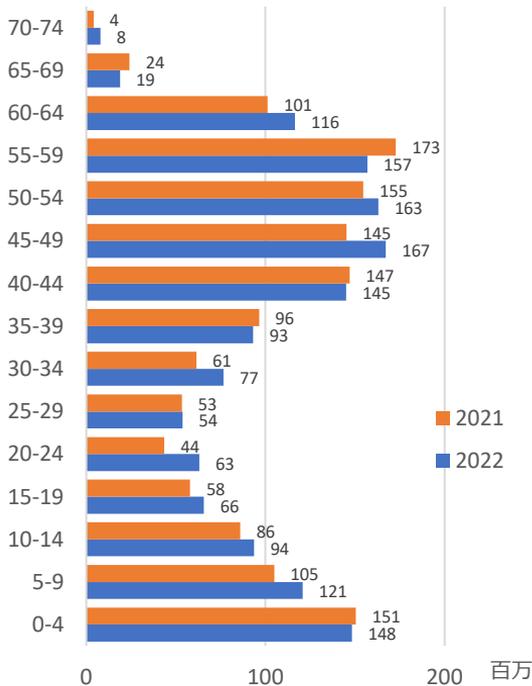
Nitto

Innovation for Customers

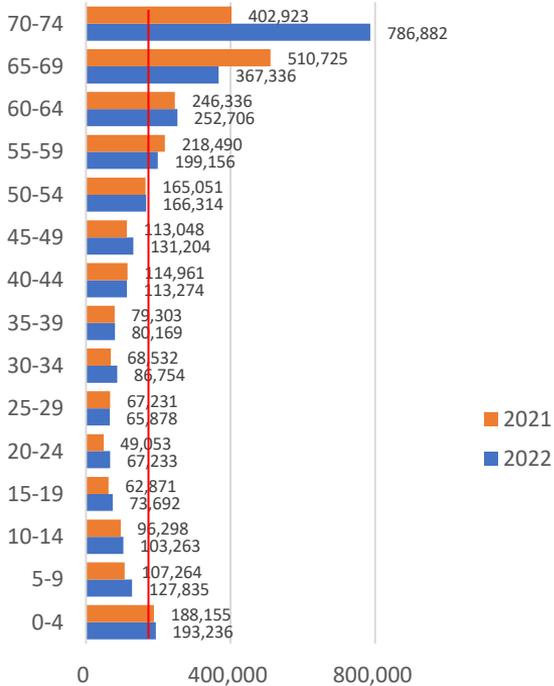
年齢階層別医療費 男性本人家族計

- ・医療費総額において年代ごとに大きな特徴はみられない。
- ・全年齢層で受診率が前年を上回っている。
- ・一人当医療費、受診率は50歳半ばを境に2022年度健保連平均を上回っている。

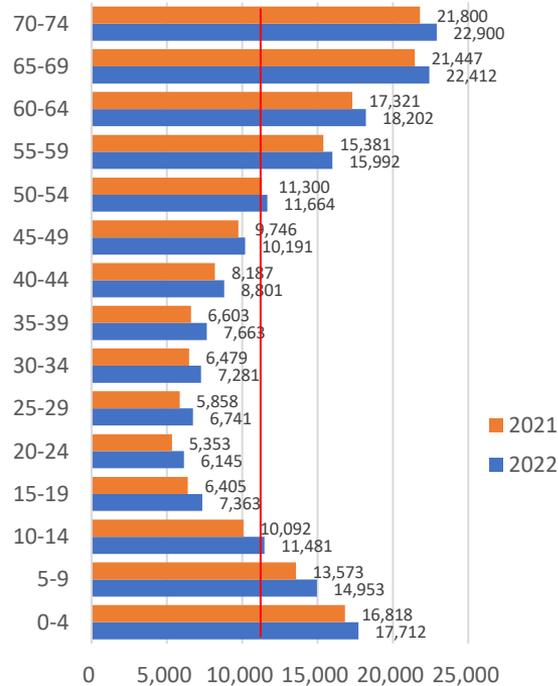
医療費総額 男性本人家族計



一人当医療費 男性本人家族



受診率 (1,000人当たり件数) 男性本人家族

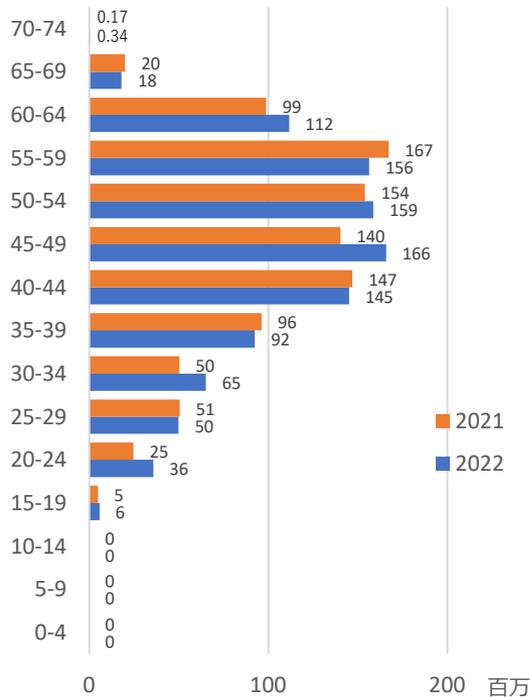


年齢階層別医療費 男性本人

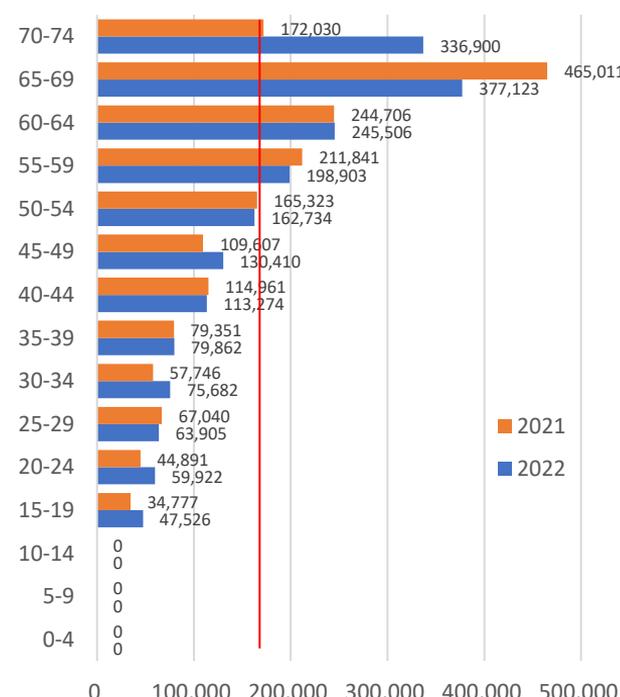
- ・45-49歳で医療費総額が前年より増加している。
- ・一人当医療費は年齢とともに増加傾向。65歳以降で顕著に増加している。
- ・受診率は全年代で増加がみられている。

—— 2022年度健保連平均

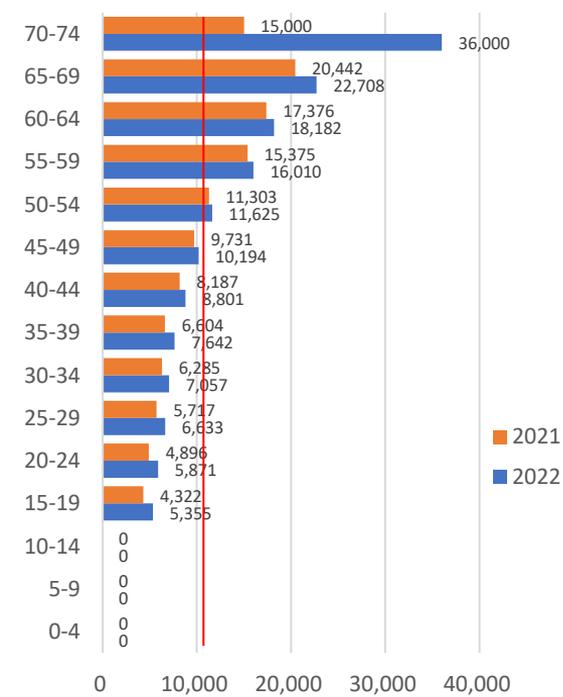
医療費総額 男性本人



一人当医療費 男性本人



受診率 (1,000人当たり件数) 男性本人

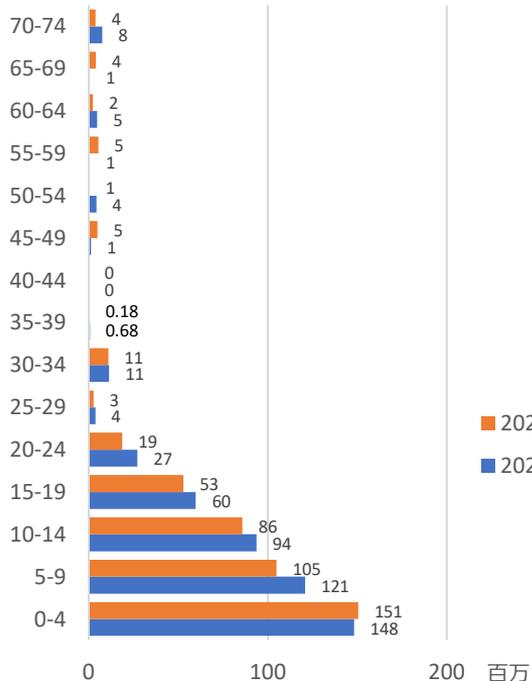


年齢階層別医療費 男性家族

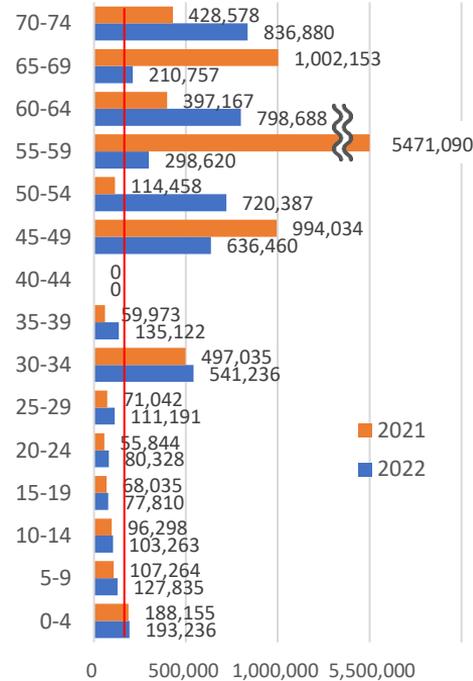
・20歳以上の統計客体数が少ないため、一人当医療費および受診率にばらつきが見られる。
 ・受診率が特段高い年齢層があるわけではないが、医療費総額は乳幼児および未就学児が高い。

—— 2022年度健保連平均

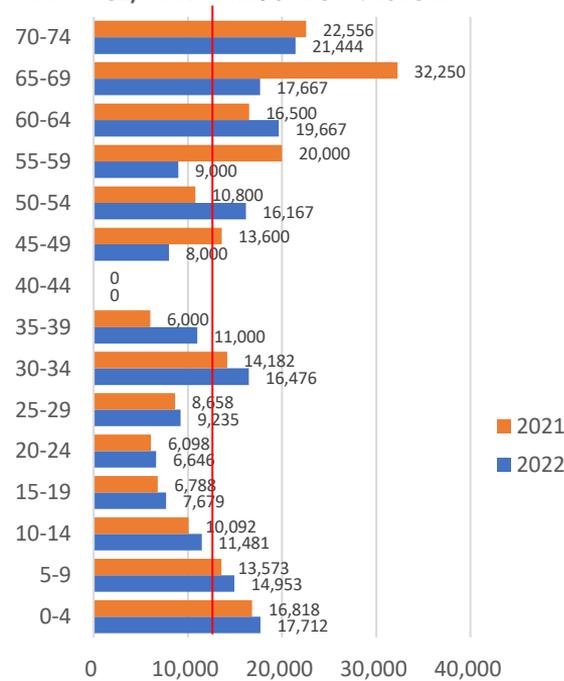
医療費総額 男性家族



一人当医療費 男性家族



受診率 (1,000人当たり件数) 男性家族

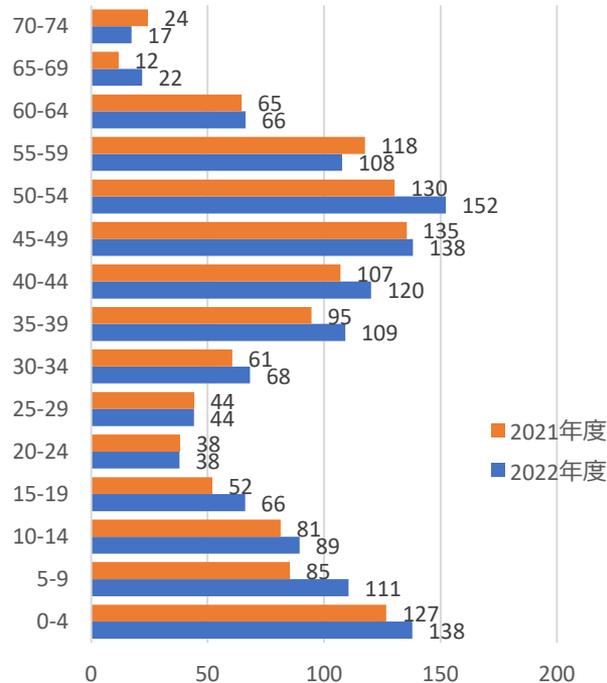


年齢階層別医療費 女性本人家族計

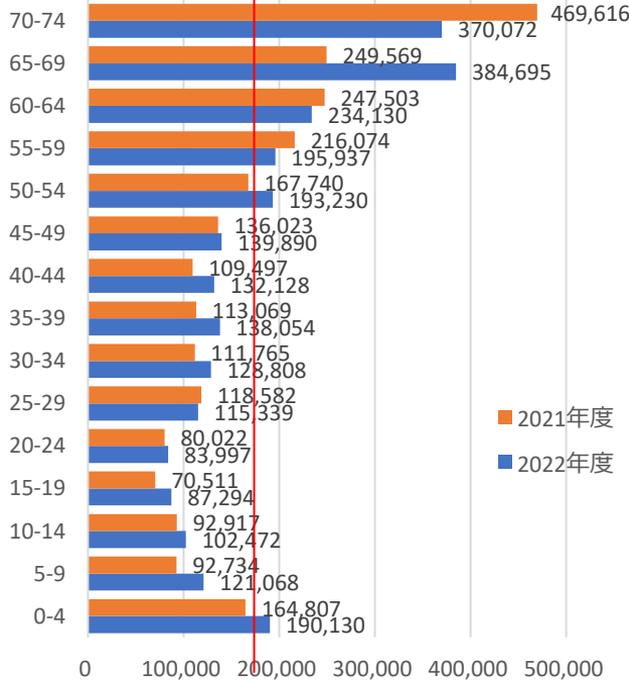
男性同様医療費総額において年代ごとに大きな特徴はみられない。

- ・全年齢層で受診率が前年を上回っている。
- ・一人当り医療費、受診率は50歳を境に2022年度健保連平均を上回っている。

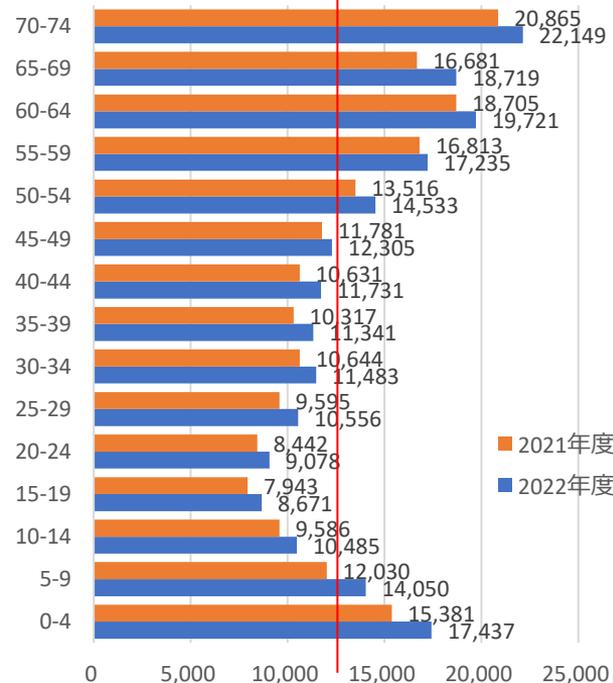
医療費総額女性本人家族計



1人当たり医療費女性本人家族計



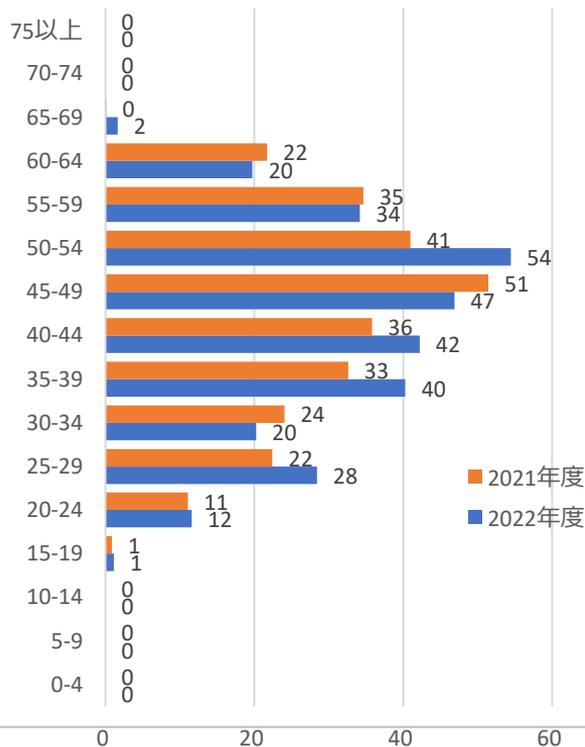
受診率女性本人家族計



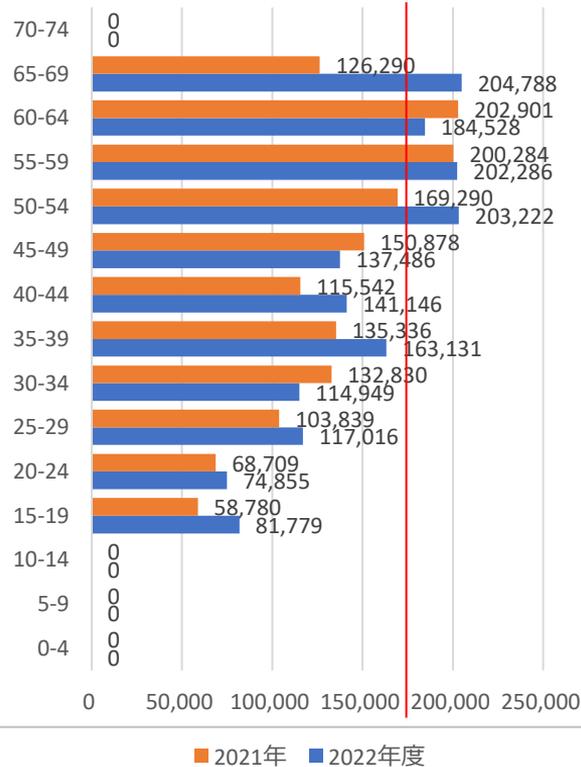
年齢階層別医療費 女性本人

- ・50-54歳で医療費総額が前年より大幅に増加している。
- ・一人当医療費は健保連平均に比べ低い。
- ・受診率は大半の年代で増加がみられている。

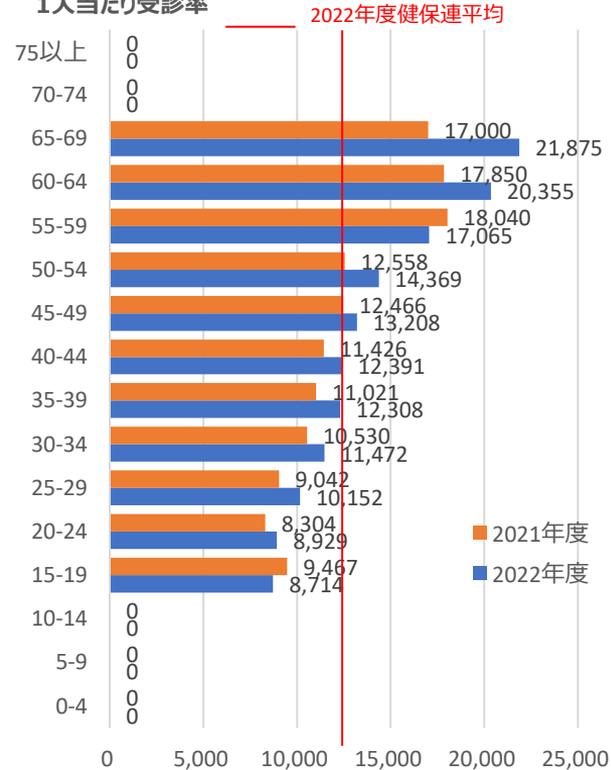
医療費総額女性本人



1人当医療費女性本人



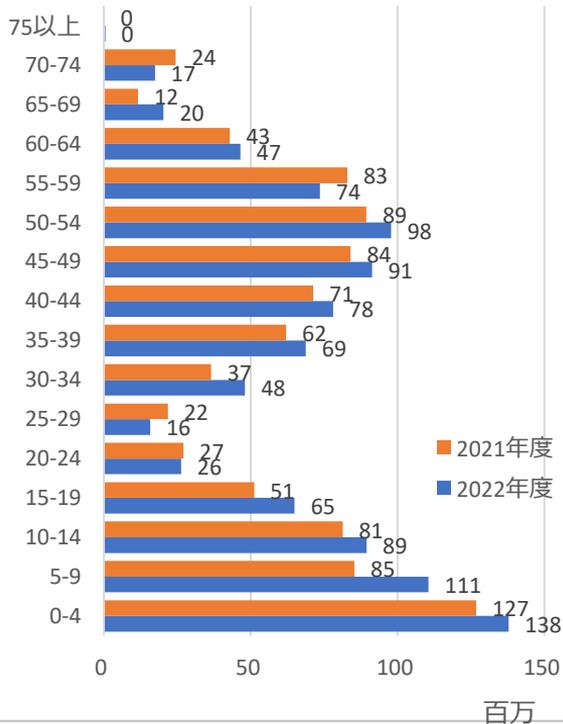
1人当たり受診率



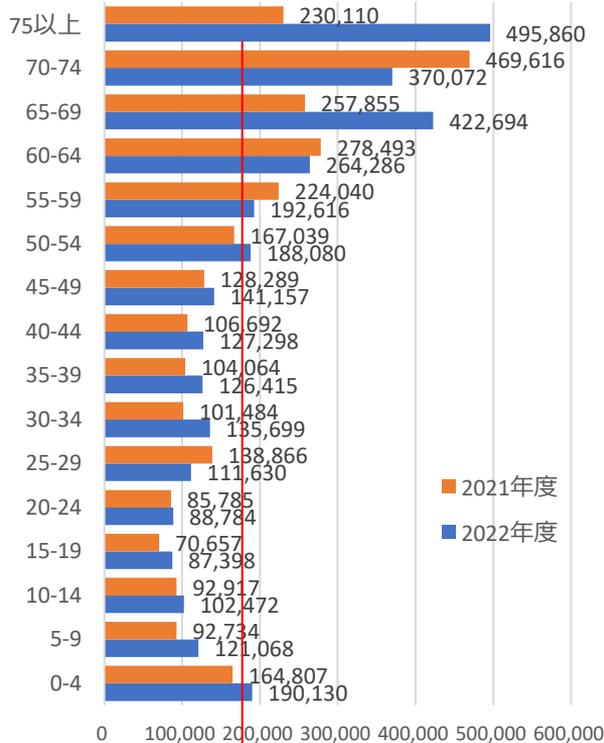
年齢階層別医療費 女性家族

- ・医療費総額は多くの年代で21年度より22年度は増加している。
- ・一人当医療費は50歳以上で健保連平均を上回っている。
- ・受診率は乳幼児と高年齢層で健保連平均を上回っている。

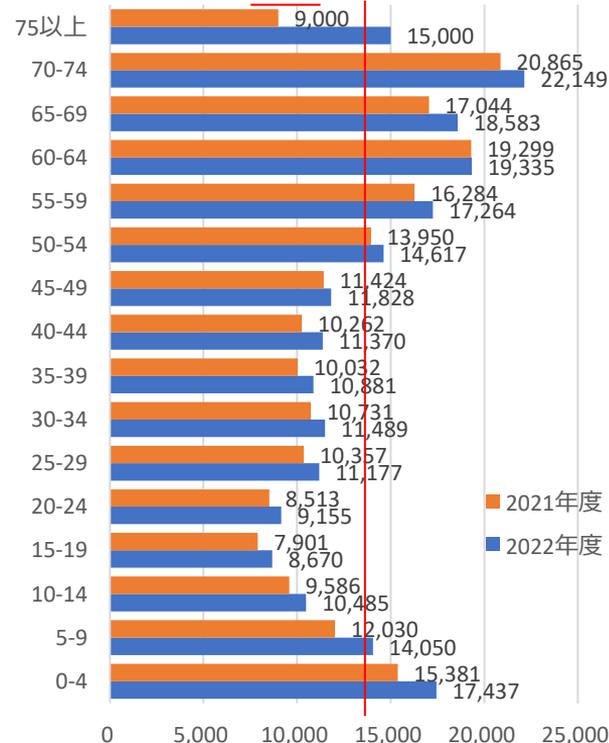
医療費総額女性家族



1人当医療費女性家族



受診率女性家族





生活習慣病 医療費 医療費三要素

Nitto

Innovation for Customers

生活習慣病 医科入院三要素 男性本人

生活習慣病	本人/男性 [入院]				
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病	993,630	119	2.6388	10.41	4,339
再掲 インスリン治療	514,530	62	0.1199	11	46,775
	腎障害	0	0	-	-
	網膜症	0	0	-	-
	神経障害	0	0	-	-
脳血管障害	5,687,120	682	1.3194	18.09	28,578
虚血性心疾患	2,239,060	269	0.4798	13	43,059
動脈閉塞	0	0	0	-	-
高血圧症	727,610	87	3.2386	10.3	2,617
高尿酸血症	89,490	11	0.7197	11.67	1,278
高脂血症	294,680	35	2.1591	9.17	1,786
肝機能障害	69,950	8	0.3598	7.67	3,041
高血圧性腎臓障害	34,220	4	0.1199	2	17,110
人工透析	0	0	0	-	-

生活習慣病 【対前年度伸率 %】	本人/男性 [入院]				
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病	△ 59.30	△ 59.66	△ 44.09	9.12	△ 33.89
再掲 インスリン治療	-	-	-	-	-
	腎障害	△ 100.00	△ 100.00	△ 100.00	-
	網膜症	-	-	-	-
	神経障害	-	-	-	-
脳血管障害	75.99	74.42	9.02	33.01	20.27
虚血性心疾患	△ 76.04	△ 76.22	△ 76.68	81.06	△ 43.79
動脈閉塞	-	-	-	-	-
高血圧症	△ 4.35	△ 5.43	△ 31.38	29.23	6.99
高尿酸血症	△ 27.57	△ 26.67	△ 50.44	1.48	42.79
高脂血症	56.84	52.17	△ 22.43	10.48	81.50
肝機能障害	121.64	100.00	48.68	119.14	△ 32.56
高血圧性腎臓障害	-	-	-	-	-
人工透析	-	-	-	-	-

- ・医療費総額、1人当たり医療費、1件当日数は脳血管障害が上位を占めている。
- ・受診率においては、高血圧症が最も多い。
- ・インスリン治療および虚血性心疾患の1日当たり医療費が多くなっている。

生活習慣病 医科入院外三要素 男性本人

生活習慣病	本人/男性 [入院外]					
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	
糖尿病	66,767,040	8,009	656.3512	1.19	10,258	
再掲 インスリン治療	4,639,220	556	13.9139	1.11	35,963	
	腎障害	9,324,920	1,118	35.6243	1.11	28,343
	網膜症	335,920	40	26.9881	1.09	1,366
	神経障害	1,026,460	123	15.1134	1.21	6,753
	脳血管障害	2,113,390	253	32.7456	1.23	6,271
虚血性心疾患	4,289,560	515	109.8717	1.26	3,714	
動脈閉塞	4,740	1	0.4798	1.25	948	
高血圧症	38,616,620	4,632	896.3656	1.12	4,599	
高尿酸血症	6,532,570	784	320.379	1.16	2,107	
高脂血症	27,716,150	3,324	912.9183	1.15	3,170	
肝機能障害	1,253,850	150	179.6809	1.19	703	
高血圧性腎臓障害	13,610	2	2.6388	1	619	
人工透析	2,295,930	275	0.9596	10.13	28,345	

生活習慣病 【対前年度伸率 %】	本人/男性 [入院外]					
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	
糖尿病	6.25	5.31	3.17	0.00	1.91	
再掲 インスリン治療	35476.84	27700.00	576.29	4.72	4867.27	
	腎障害	△ 32.40	△ 33.01	△ 9.43	△ 5.13	△ 22.13
	網膜症	26.95	25.00	△ 14.88	△ 1.80	50.77
	神経障害	△ 16.97	△ 18.00	△ 24.77	5.22	4.33
	脳血管障害	△ 23.37	△ 24.25	△ 0.89	△ 15.17	△ 9.95
虚血性心疾患	△ 3.47	△ 4.28	△ 3.21	△ 5.26	4.06	
動脈閉塞	-	-	-	-	-	
高血圧症	2.18	1.27	3.66	△ 2.61	0.11	
高尿酸血症	△ 25.41	△ 26.04	1.90	△ 2.52	△ 25.39	
高脂血症	0.05	△ 0.86	2.98	△ 2.54	△ 0.94	
肝機能障害	4.57	3.45	△ 2.00	△ 2.46	8.49	
高血圧性腎臓障害	△ 58.47	△ 50.00	28.26	0.00	△ 67.89	
人工透析	△ 81.21	△ 81.39	△ 75.22	△ 22.26	△ 3.25	

- ・糖尿病の医療費総額、1人当たり医療費が突出して高く、インスリン治療の1日当たり医療費が多い。
- ・医療費総額は次いで高血圧、高脂血症が上位を占めている。

生活習慣病 医科入院三要素 女性本人

生活習慣病	本人/女性 [入院]				
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病	38,360	19	1.4815	10.67	1,199
再掲	インスリン治療	0	0	-	-
	腎障害	0	0	0	-
	網膜症	0	0	0	-
	神経障害	0	0	0	-
脳血管障害	0	0	0	-	-
虚血性心疾患	0	0	0	-	-
動脈閉塞	0	0	0	-	-
高血圧症	6,140	3	1.4815	3.67	558
高尿酸血症	0	0	0	-	-
高脂血症	0	0	0	-	-
肝機能障害	0	0	0	-	-
高血圧性腎臓障害	0	0	0	-	-
人工透析	0	0	0	-	-

生活習慣病 【対前年度伸率 %】	本人/女性 [入院]				
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病	△ 71.20	△ 71.64	47.27	137.11	△ 91.90
再掲	インスリン治療	-	-	-	-
	腎障害	-	-	-	-
	網膜症	-	-	-	-
	神経障害	-	-	-	-
脳血管障害	-	-	-	-	-
虚血性心疾患	-	-	-	-	-
動脈閉塞	-	-	-	-	-
高血圧症	△ 83.87	△ 84.21	47.27	△ 47.57	△ 79.48
高尿酸血症	-	-	-	-	-
高脂血症	△ 100.00	△ 100.00	△ 100.00	-	-
肝機能障害	-	-	-	-	-
高血圧性腎臓障害	-	-	-	-	-
人工透析	-	-	-	-	-

医療費総額、1人当たり医療費、1件当日数、1日当たり医療費の多くを糖尿病が占めている。

生活習慣病 医科入院外三要素 女性本人

生活習慣病	本人/女性 [入院外]					
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	
糖尿病	6,631,050	3,275	363.9506	1.3	6,915	
再掲	インスリン治療	726,510	359	10.3704	1.05	33,023
	腎障害	1,134,750	560	19.7531	1	28,369
	網膜症	22,710	11	8.8889	1.11	1,136
	神経障害	43,650	22	5.9259	2.33	1,559
	脳血管障害	667,630	330	28.642	2.16	5,341
虚血性心疾患	449,020	222	54.321	1.26	3,230	
動脈閉塞	0	0	0	-	-	
高血圧症	5,093,620	2,515	560.9877	1.13	3,958	
高尿酸血症	143,240	71	28.642	1.21	2,046	
高脂血症	5,855,500	2,892	666.1728	1.17	3,704	
肝機能障害	198,450	98	84.4444	1.13	1,028	
高血圧性腎臓障害	3,090	2	3.4568	1	441	
人工透析	0	0	0	-	-	

生活習慣病 【対前年度伸率 %】	本人/女性 [入院外]					
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	
糖尿病	△ 1.16	△ 2.96	2.77	1.56	△ 7.03	
再掲	インスリン治療	-	-	-	-	
	腎障害	△ 38.62	△ 39.78	△ 29.88	△ 4.76	△ 9.46
	網膜症	13.61	10.00	△ 11.64	△ 11.20	42.00
	神経障害	△ 54.78	△ 55.10	△ 50.91	106.19	△ 56.39
	脳血管障害	5.47	3.77	△ 22.00	4.35	27.41
虚血性心疾患	△ 3.69	△ 5.53	25.57	△ 8.70	△ 17.56	
動脈閉塞	-	-	-	-	-	
高血圧症	△ 2.87	△ 4.66	△ 0.60	△ 0.88	△ 3.63	
高尿酸血症	9.46	7.58	23.78	9.01	△ 20.27	
高脂血症	4.39	2.48	7.06	△ 3.31	△ 0.96	
肝機能障害	3.79	2.08	1.13	0.00	1.08	
高血圧性腎臓障害	423.73	-	71.80	0.00	197.97	
人工透析	-	-	-	-	-	

- ・糖尿病の医療費総額、1人当たり医療費が高い。
- ・インスリン治療の1日当たり医療費、神経障害の1件当日数が高い。
- ・医療費総額は次いで高脂血症、高血圧症が上位を占めている。

生活習慣病 医科入院三要素 男性家族

生活習慣病	家族/男性 [入院]				
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病	160,370	42	1.5732	17.83	1,499
再掲	インスリン治療	0	0	-	-
	腎障害	0	0	-	-
	網膜症	0	0	-	-
	神経障害	0	0	-	-
	脳血管障害	1,759,020	461	0.5244	13.5
虚血性心疾患	1,371,290	360	0.5244	9	76,183
動脈閉塞	0	0	0	-	-
高血圧症	83,430	22	1.0488	11.25	1,854
高尿酸血症	7,070	2	0.2622	15	471
高脂血症	2,040	1	0.2622	15	136
肝機能障害	740	0	0.2622	6	123
高血圧性腎臓障害	0	0	0	-	-
人工透析	0	0	0	-	-

生活習慣病 【対前年度伸率 %】	家族/男性 [入院]				
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病	△ 80.28	△ 80.00	△ 59.35	△ 29.05	△ 30.51
再掲	インスリン治療	-	-	-	-
	腎障害	△ 100.00	△ 100.00	△ 100.00	-
	網膜症	-	-	-	-
	神経障害	-	-	-	-
	脳血管障害	2055.13	2095.24	103.26	△ 55.00
虚血性心疾患	-	-	-	-	-
動脈閉塞	-	-	-	-	-
高血圧症	△ 58.80	△ 57.69	△ 18.70	△ 42.60	△ 10.26
高尿酸血症	1471.11	-	1.63	△ 50.00	3040.00
高脂血症	△ 96.15	△ 92.86	1.63	△ 46.43	△ 92.80
肝機能障害	△ 81.27	△ 100.00	1.63	△ 53.85	△ 59.54
高血圧性腎臓障害	-	-	-	-	-
人工透析	-	-	-	-	-

脳血管障害の医療費総額、1人当たり医療費が高い。

生活習慣病 医科入院外三要素 男性家族

生活習慣病	家族/男性 [入院外]					
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	
糖尿病	955,760	251	39.8532	1.47	4,286	
再掲 インスリン治療	10,880	3	0.2622	1	10,880	
	腎障害	118,290	31	0.7866	2.33	16,899
	網膜症	2,950	1	0.7866	1	983
	神経障害	5,000	1	1.311	1	1,000
脳血管障害	188,700	49	5.506	1.19	7,548	
虚血性心疾患	146,050	38	11.5364	1.32	2,518	
動脈閉塞	0	0	0	-	-	
高血圧症	497,250	130	29.8899	1.1	3,978	
高尿酸血症	47,790	13	13.1096	1.48	646	
高脂血症	173,810	46	22.0241	1.31	1,580	
肝機能障害	5,310	1	1.5732	1.33	664	
高血圧性腎臓障害	0	0	0	-	-	
人工透析	0	0	0	-	-	

生活習慣病 【対前年度伸率 %】	家族/男性 [入院外]					
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	
糖尿病	10.92	13.06	△ 4.06	8.89	7.93	
再掲 インスリン治療	-	-	-	-	-	
	腎障害	△ 15.95	△ 13.89	△ 56.45	48.41	32.08
	網膜症	-	-	-	-	-
	神経障害	△ 0.40	0.00	1.63	0.00	△ 0.40
脳血管障害	△ 57.56	△ 57.39	△ 37.23	△ 41.38	17.13	
虚血性心疾患	△ 49.18	△ 48.65	△ 26.70	3.13	△ 31.65	
動脈閉塞	-	-	-	-	-	
高血圧症	△ 11.65	△ 10.34	△ 8.05	△ 14.73	15.20	
高尿酸血症	△ 68.19	△ 66.67	1.63	7.25	△ 70.33	
高脂血症	1.96	4.55	△ 16.31	△ 5.07	30.69	
肝機能障害	△ 77.71	△ 83.33	△ 69.51	△ 5.00	△ 21.97	
高血圧性腎臓障害	-	-	-	-	-	
人工透析	-	-	-	-	-	

糖尿病の医療費総額、1人当たり医療費、受診率が高い。

生活習慣病 医科入院三要素 女性家族

生活習慣病	家族/女性 [入院]				
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病	510,920	73	1.1394	14.88	4,293
再掲	インスリン治療	0	0	-	-
	腎障害	0	0	0	-
	網膜症	0	0	0	-
	神経障害	0	0	0	-
	脳血管障害	4,491,780	640	0.7121	16.4
虚血性心疾患	246,590	35	0.5697	3.5	17,614
動脈閉塞	0	0	0	-	-
高血圧症	876,900	125	2.8486	14.2	3,088
高尿酸血症	34,730	5	0.4273	18.33	631
高脂血症	403,440	57	1.4243	10.4	3,879
肝機能障害	820	0	0.1424	2	410
高血圧性腎臓障害	0	0	0	-	-
人工透析	0	0	0	-	-

生活習慣病 【対前年度伸率 %】	家族/女性 [入院]				
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)
糖尿病	△ 11.52	△ 8.75	△ 31.67	41.71	△ 6.33
再掲	インスリン治療	-	-	-	-
	腎障害	△ 100.00	△ 100.00	△ 100.00	-
	網膜症	-	-	-	-
	神経障害	-	-	-	-
	脳血管障害	-	-	-	-
虚血性心疾患	△ 66.55	△ 65.69	105.00	40.00	△ 88.05
動脈閉塞	-	-	-	-	-
高血圧症	225.02	237.84	46.42	68.45	35.08
高尿酸血症	396.14	400.00	2.49	52.75	225.26
高脂血症	282.63	280.00	28.12	△ 9.57	238.48
肝機能障害	-	-	-	-	-
高血圧性腎臓障害	-	-	-	-	-
人工透析	△ 100.00	△ 100.00	△ 100.00	-	-

- ・脳血管障害の医療費総額、1人当たり医療費、1日当たり医療費が高い。
- ・受診率では高血圧症、1件当日数は高尿酸血症で高くなっている。

生活習慣病 医科入院外三要素 女性家族

生活習慣病	家族/女性 [入院外]					
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	
糖尿病	14,871,720	2,118	253.2403	1.3	6,441	
再掲 インスリン治療	1,191,680	170	7.9761	1.32	16,104	
	腎障害	2,055,340	293	13.6733	1.2	17,873
	網膜症	126,090	18	8.9731	1.08	1,854
	神経障害	138,650	20	8.4034	1.12	2,101
脳血管障害	1,196,630	170	18.9432	1.19	7,574	
虚血性心疾患	958,150	136	28.0587	1.59	3,051	
動脈閉塞	0	0	0	-	-	
高血圧症	10,317,510	1,470	329.1554	1.2	3,713	
高尿酸血症	283,580	40	28.486	1.84	773	
高脂血症	10,381,400	1,479	397.8066	1.26	2,959	
肝機能障害	216,350	31	55.2628	1.2	465	
高血圧性腎臓障害	1,060	0	0.2849	1.5	353	
人工透析	4,376,550	623	1.7092	12.92	28,236	

生活習慣病 【対前年度伸率 %】	家族/女性 [入院外]					
	医療費総額 (円)	1人当医療費 (円)	受診率	1件当日数 (日)	1日当医療費 (円)	
糖尿病	0.57	3.07	2.96	0.78	△ 0.22	
再掲 インスリン治療	2276.71	2328.57	139.15	△ 12.00	1056.07	
	腎障害	△ 39.22	△ 37.66	△ 15.18	5.26	△ 30.24
	網膜症	275.04	260.00	84.49	△ 0.92	109.49
	神経障害	△ 18.49	△ 16.67	△ 17.16	△ 3.45	5.00
脳血管障害	△ 19.75	△ 17.87	0.23	△ 12.50	△ 6.04	
虚血性心疾患	8.01	10.57	△ 8.22	16.06	3.53	
動脈閉塞	-	-	-	-	-	
高血圧症	△ 4.54	△ 2.13	2.71	△ 2.44	△ 2.29	
高尿酸血症	△ 30.86	△ 29.82	△ 5.97	△ 2.65	△ 22.16	
高脂血症	△ 9.72	△ 7.45	5.20	△ 5.26	△ 7.01	
肝機能障害	△ 26.89	△ 24.39	△ 9.62	△ 1.64	△ 15.45	
高血圧性腎臓障害	△ 47.00	-	104.96	50.00	△ 82.35	
人工透析	△ 52.94	△ 51.78	△ 50.80	△ 1.22	△ 0.71	

- ・糖尿病の医療費総額、1人当たり医療費が高い。
- ・受診率は高脂血症、高血圧症、糖尿病の順に高い。
- ・1件当日数、1日当たり医療費は人工透析で突出している。

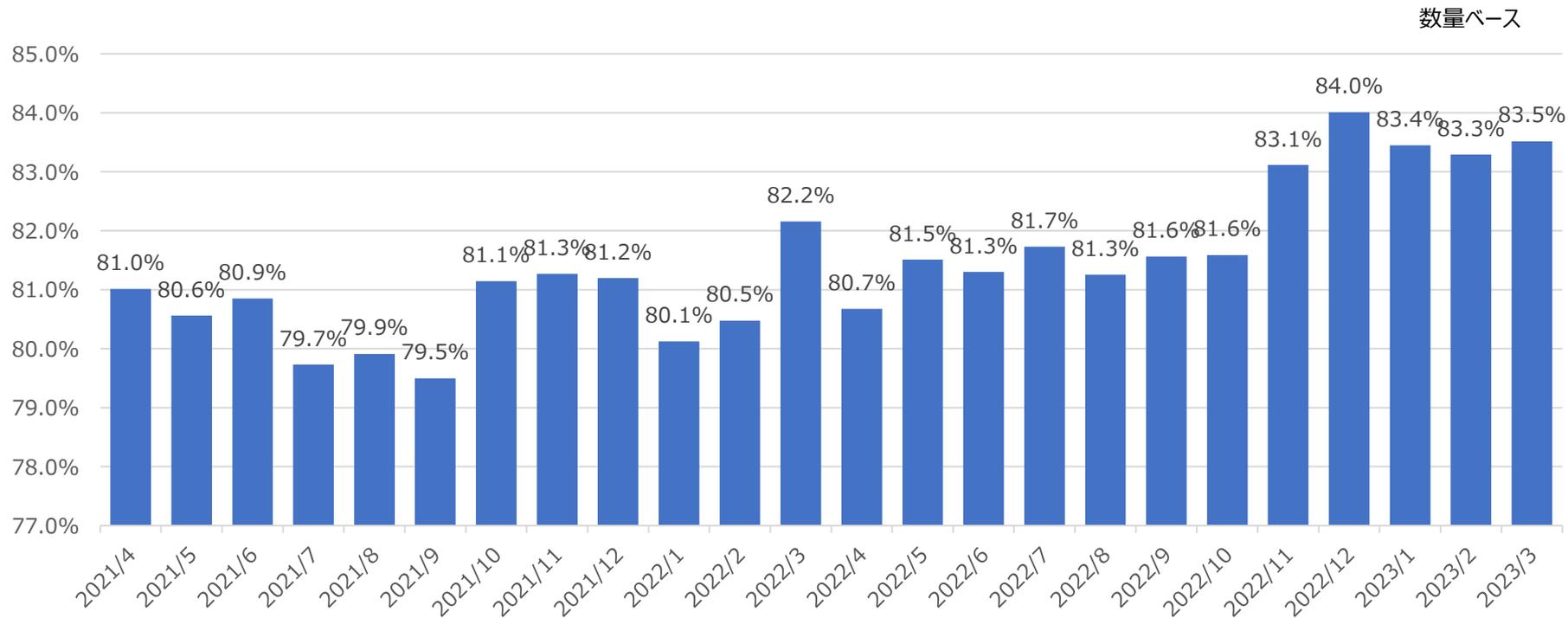


參考資料

Nitto

Innovation for Customers

後発医薬品(ジェネリック)の使用状況(令和3・4年度)



毎月では増減はあるものの、長期的には、増加傾向となっている。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	未選択	①被保険者と比較して被扶養者の特定健康診査受診率、特定保健指導実施率が低い。	➔	<ul style="list-style-type: none"> 被扶養者の巡回健診・健診当日分割保健指導を実施予定。受診できる方法を増やして受診率・受検率を上げる。 その他、広報の方法や受診控えになっているニーズの把握から開始する。 	✓
2	未選択	②悪性新生物の医療費が上昇傾向にあるが（119分類より抽出）、被保険者、被扶養者別の分析、それに応じた適切な事後フォローが行えていない。	➔	<ul style="list-style-type: none"> 背景として悪性新生物の早期発見・早期治療の基本原則が実施できていない可能性が考えられる。具体的には、どのガンの罹患率・治療率、またその内容が医療費の上昇に繋がっているかの正しい把握が必要。 	✓
3	未選択	③保健事業としてエビデンスに基づくがん検診の検査項目設定ができていない。	➔	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省の推奨する5大ガン+PSAの健康診断を実施しているが、②に基づいて実施が行えていないため、開始時期・実施周期などNittoに見合った健診項目なのかの評価が必要。 	
4	未選択	④前期高齢者の医療費削減に対する予防事業は行っているが、前期高齢者の医療費分析および今後の予測が立てられていない。	➔	<ul style="list-style-type: none"> 前期高齢者の納付金は、Nittoの前期高齢者の医療費に比例するところであり、その医療費の削減策を立案する必要がある。訪問事業などの施策は行ってきたものの、実施率自体もかなり低く、再度分析から行い、事業自体を見直す。 	
5	未選択	⑤医療費分析に基づく被扶養者（40歳未満）への保健事業が実施できていない。	➔	<ul style="list-style-type: none"> 40歳未満の健康課題自体が、他健保などと同様に歯科医療費が最も高い状態であった。保健事業としては、在宅採血などの施策は行ってきたものの、期待した効果を得ることができていない。再度分析から行い、事業自体を見直す。 	
6	未選択	⑥被扶養者の医療費も歯科が上位を占めているにも関わらず、被扶養者に対する歯科予防事業が行えていない。	➔	<ul style="list-style-type: none"> ⑤でも述べたが、被扶養者の医療費も歯科医療の項目が高かったため、事業を開始検討。 	
7	未選択	⑦インフルエンザ予防接種費用補助の費用対効果が確認できていない。	➔	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザの事業が費用補助で留まっているため、予防接種の効果や従業員の休業日数に対してどのような影響を及ぼしているのか費用対効果の把握が必要。 	
8	未選択	⑧健康経営を推進する上で事業主と当組合の情報共有ができておらず、効率的に事業を展開できていない。	➔	<ul style="list-style-type: none"> 組織体制の変更を行い、現状で保健師2名が健康保険組合に所属する事となった。そもそもの第3期計画の立案と過去データなどの是正を至急実施していく。 	✓

基本情報

No.	特徴	対策検討時に留意すべき点
-----	----	--------------

<ul style="list-style-type: none"> 男女比は80:20と圧倒的に男性の被保険者が多い。扶養率は1.02人で男女比は35:65と女性比率が高い。 被保険者の構成は40歳～44歳が15%を占め一番高い。次いで45歳～49歳、50歳～54歳と続く。 <p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> 被扶養者は5歳～9歳が17%と一番高く、次いで10歳～14歳、15歳～19歳と続く。 20歳以上の被扶養者は45歳～49歳が5.7%、40歳～44歳が5.4%で99%が女性。 特定健診は、被保険者は高い実施率。⇒Casioからの返答を待って再作成 特定保健指導は、特に被扶養者の実施率が低い⇒Casioからの返答を待って再作成 疾病予防費や保健指導宣伝費など経年的な施策の費用対効果を確認することが困難 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 基幹システムの在り方 今後の従業員の動態に基づいた仮説が必要（65歳以上の再雇用者の増加） 医療費が右肩上がりになっている現状に対してのコロナ以外の理由
---	---	--

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
	<p>過去実施した各種保健事業に関するデータ取得および整理ができておらず、データに基づくPDCA評価が行えていない現状があることを前提とし、以下記載する。</p> <p>①被保険者と比較して被扶養者の特定健康診査受診率、特定保健指導実施率が低い。</p> <p>②悪性新生物の医療費が上昇傾向にあるが（119分類より抽出）、被保険者、被扶養者別の分析、それに応じた適切な事後フォローが行えていない。</p> <p>③保健事業としてエビデンスに基づくがん検診の検査項目設定ができていない。</p> <p>1 ④前期高齢者の医療費削減に対する予防事業は行っているが、前期高齢者の医療費分析および今後の予測が立てられていない。</p> <p>⑤医療費分析に基づく被扶養者（40歳未満）への保健事業が実施できていない。</p> <p>⑥被扶養者の医療費も歯科が上位を占めているにも関わらず、被扶養者に対する歯科予防事業が行えていない。</p> <p>⑦インフルエンザ予防接種費用補助の費用対効果が確認できていない。</p> <p>⑧健康経営を推進する上で事業主と当組合の情報共有ができておらず、効率的に事業を展開できていない。</p>	➔	<p>本来であれば①～⑧までの課題に対し、健康課題を抽出することで過去データなどから新たな気づきを得られるはずだが、2024年度から新たに実施計画の修正を行うため、分析が急がれる。</p>

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

健康経営を推進する上でのデータ整備、事業主との連携が出来ていないため、短期的としては健康保険組合内の環境整備（データ収集・分析、事業主連携）を行い、中長期的な目的としてデータヘルスを実現し、加入者へ適切なサービスを提供する。

事業全体の目標

各個別の事業において、アウトプット指標およびアウトカム指標を達成する。

事業の一覧

職場環境の整備

その他	コラボヘルスによる課題対策の立案・実施
-----	---------------------

加入者への意識づけ

疾病予防	「女性がん健診」の受診率向上
------	----------------

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被扶養者）
保健指導宣伝	出産・子育て支援育児雑誌送付事業
疾病予防	がん検診
疾病予防	前期高齢者訪問事業
疾病予防	被扶養配偶者（40歳未満）健診
疾病予防	歯科健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種費用補助
その他	後発医薬品使用促進

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連											
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画																		
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度													
アウトプット指標												アウトカム指標																			
4	既存(法定)	特定保健指導(被扶養者)	全て	男女	40～74	被扶養者、基準該当者、任意継続者	1	ケ	-	ア,ウ,カ,コ	-	被扶養者への受診勧奨および実施率データの収集。	令和6年に取得したデータを活用し、適切な広報活動を行い受診者の増加へ繋げる。	前年度の課題を評価し受診者の増加へ繋げる。	令和6～8年度の過去実績を検証し、本計画の振り返りおよび見直しを行った上でPDCAを回しながら次年度以降の保健事業を展開する。	過去実績を検証し、PDCAを回しながら保健事業を展開する。	過去実績を検証し、PDCAを回しながら保健事業を展開する。	※第2期データヘルス計画策定時に明確な事業目標を設定できていなかったため、本項目はSTEP2-1で記載した内容と同一とする。特定健診の結果に基づき特定保健指導の対象となった被扶養者に特定保健指導の受診勧奨を行う。	①被保険者と比較して被扶養者の特定健康診査受診率、特定保健指導実施率が低い。												
													特定保健指導実施率(【実績値】7.7% 【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：12% 令和8年度：14% 令和9年度：16% 令和10年度：18% 令和11年度：20%)-												腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合(【実績値】28.6% 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：31% 令和8年度：32% 令和9年度：33% 令和10年度：34% 令和11年度：35%)-						
1,8	既存	出産・子育て支援育児雑誌送付事業	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	1	ス	-	シ	-	第1子出産の加入者(男性、女性)への育児支援雑誌の配布	第1子出産の加入者(男性、女性)への育児支援雑誌の配布	第1子出産の加入者(男性、女性)への育児支援雑誌の配布	第1子出産の加入者(男性、女性)への育児支援雑誌の配布	第1子出産の加入者(男性、女性)への育児支援雑誌の配布	第1子出産の加入者(男性、女性)への育児支援雑誌の配布	第1子出産の加入者が安心して子育てが出来る支援を実施する	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)												
													100%の送付(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												成果の数値化出来ない為(アウトカムは設定されていません)						
疾病予防	3,4	既存(法定)	がん検診	全て	男女	18～74	基準該当者	3	ウ	-	ア,イ,コ	-	被保険者・被扶養者への受診勧奨および受診率データの収集。	令和6年に取得したデータを活用し、適切な広報活動を行い受診者の増加へ繋げる。	前年度の課題を評価し受診者の増加へ繋げる。	令和6～8年度の過去実績を検証し、本計画の振り返りおよび見直しを行った上でPDCAを回しながら次年度以降の保健事業を展開する。	過去実績を検証し、PDCAを回しながら保健事業を展開する。	過去実績を検証し、PDCAを回しながら保健事業を展開する。	※第2期データヘルス計画策定時に明確な事業目標を設定できていなかったため、本項目はSTEP2-1で記載した内容と同一とする。2023年度～被保険者のみではあるが人間ドック・生活習慣病健診でのネットワーク健診で胃バリウム検査⇒胃カメラ検査への変更(個人都合：体重だけ・立位が取れない等は健保負担)を可能とするなどの対策を開始し、データの整備を行う(対象：胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん・前立腺がん)。	②悪性新生物の医療費が上昇傾向にあるが(119分類より抽出)、被保険者、被扶養者別の分析、それに応じた適切な事後フォローが行っていない。 ③保健事業としてエビデンスに基づくがん検診の検査項目設定ができていない。											
														胃がん検診受診率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：60% 令和7年度：60% 令和8年度：60% 令和9年度：60% 令和10年度：60% 令和11年度：60%)胃透視、胃カメラ検査												第2期データヘルス計画策定時に明確な事業目標の設定、過去データの収集が行えておらず、現時点で目標値を設定することが困難なため。(アウトカムは設定されていません)					
														大腸がん検診受診率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：60% 令和7年度：60% 令和8年度：60% 令和9年度：60% 令和10年度：60% 令和11年度：60%)便潜血二日法																	
														乳がん検診受診率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：30% 令和8年度：30% 令和9年度：32% 令和10年度：34% 令和11年度：34%)乳房超音波検査、マンモグラフィ、視触診																	
														子宮頸がん検診受診率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：30% 令和8年度：30% 令和9年度：32% 令和10年度：34% 令和11年度：34%)子宮細胞診検査																	
														前立腺がん検診受診率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：30% 令和8年度：30% 令和9年度：33% 令和10年度：33% 令和11年度：33%)PSA検査																	
2,3,5	既存	前期高齢者訪問事業	全て	男女	65～74	基準該当者	1	ウ,ケ	-	ウ	-	前期高齢者の医療費データ、訪問指導事業利用者データの収集。	令和6年に取得したデータを分析し、前期高齢者を対象とした保健事業の見直しを行う。	組み直した保健事業の安定した実施と事業に関連するデータ収集を行う。	令和6～8年度に実施した保健事業の効果検証を行い、本計画の振り返りおよび見直しを行った上でPDCAを回しながら次年度以降の保健事業を展開する。	過去実績を検証し、PDCAを回しながら保健事業を展開する。	過去実績を検証し、PDCAを回しながら保健事業を展開する。	※第2期データヘルス計画策定時に明確な事業目標を設定できていなかったため、本項目はSTEP2-1で記載した内容と同一とする。医療費削減のために関わる年齢の再アセスメントと、事業自体の適正化し、前期高齢者の医療費削減に繋げる。	④前期高齢者の医療費削減に対する予防事業は行っているが、前期高齢者の医療費分析および今後の予測が立てられていない。												
													前期高齢者の一人当たり医療費(【実績値】- 【目標値】令和6年度：400,000円 令和7年度：390,000円 令和8年度：380,000円 令和9年度：370,000円 令和10年度：360,000円 令和11年度：350,000円)前期高齢者の医療費削減目的としては「前期高齢者の納付金が増加」するため第2期まで利用していた外部委託(訪問・電話相談)の件数が振るわず、2023年は2名まで低下(2022年は35.4%利用率?との申告はあるが内容不明)。報告書についても対象者のリピーターなどは不明。												第2期データヘルス計画策定時に明確な事業目標の設定、過去データの収集が行えておらず、現時点で目標値を設定することが困難なため。(アウトカムは設定されていません)						
2,3	既存	被扶養配偶者(40歳未満)健診	全て	男女	16～39	被扶養者、基準該当者	1	ク,ケ	-	カ,コ	-	被扶養配偶者(40歳未満)の医療費データ、健診結果データの収集。	令和6年に取得したデータを分析し、被扶養配偶者(40歳未満)を対象とした保健事業の見直しを行う。	組み直した保健事業の安定した実施と事業に関連するデータ収集を行う。	令和6～8年度に実施した保健事業の効果検証を行い、本計画の振り返りおよび見直しを行った上でPDCAを回しながら次年度以降の保健事業を展開する。	過去実績を検証し、PDCAを回しながら保健事業を展開する。	過去実績を検証し、PDCAを回しながら保健事業を展開する。	※第2期データヘルス計画策定時に明確な事業目標を設定できていなかったため、本項目はSTEP2-1で記載した内容と同一とする。被扶養配偶者(40歳未満)の医療費分析からは健診に関連する予防施策の必要性が乏しいため、今後は保健事業の適正化を図る。	⑤医療費分析に基づく被扶養者(40歳未満)への保健事業が実施できていない。												
													被扶養配偶者(40歳未満)の一人当たり医療費(【実績値】- 【目標値】令和6年度：124,000円 令和7年度：120,000円 令和8年度：110,000円 令和9年度：110,000円 令和10年度：110,000円 令和11年度：110,000円)被扶養者の40歳未満の配偶者へ健診を実施しており、実施率は(昨年度は事業として在宅採血を含んでいたが、それは除外)2022年：43.5%、2021年：46%(データとしてはバイネームではない率)。												第2期データヘルス計画策定時に明確な事業目標の設定、過去データの収集が行えておらず、現時点で目標値を設定することが困難なため。(アウトカムは設定されていません)						

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
3,4	既存	歯科健診	全て	男女	18～74	被保険者	3	ウ,ケ,サ	-	ア,カ,コ	-	歯科医療費データの分析、被保険者の受診動向および受診率データの収集。実施対象を被扶養者にも拡大検討。	令和6年に取得したデータを活用し、適切な広報活動を行い受診者の増加へ繋げる。	前年度の課題を評価し受診者の増加へ繋げる。	令和6～8年度の過去実績を検証し、本計画の振り返りおよび見直しを行った上でPDCAを回しながら次年度以降の保健事業を展開する。	過去実績を検証し、PDCAを回しながら保健事業を展開する。	過去実績を検証し、PDCAを回しながら保健事業を展開する。	※第2期データヘルス計画策定時に明確な事業目標を設定できていなかったため、本項目はSTEP2-1で記載した内容と同一とする。 歯科については医療費の割合としてもかなり高額、コロナ禍でも医療費が大幅には低下しなかった。歯科医療費の分析を行い、歯科健診対象者の見直しを含め保健事業を強化する。	⑥被扶養者の医療費も歯科が上位を占めているにも関わらず、被扶養者に対する歯科予防事業が行えていない。	
歯科一人当たり医療費(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：19,500円 令和7年度：20,000円 令和8年度：19,000円 令和9年度：19,000円 令和10年度：19,000円 令和11年度：18,500円)歯科検診機関再検討の為、一時的に増加も想定している。												第2期データヘルス計画策定時に明確な事業目標の設定、過去データの収集が行えておらず、現時点で目標値を設定することが困難なため。(アウトカムは設定されていません)								
8	既存	インフルエンザ予防接種費用補助	全て	男女	0～74	加入者全員	3	ケ	-	コ	-	インフルエンザ医療費、インフルエンザ罹患による休業日数、インフルエンザワクチン接種率データの収集、分析。	令和6年に取得したデータを活用し、適切な広報活動を行いワクチン接種率の増加へ繋げる。	前年度の課題を評価しワクチン接種率の増加へ繋げる。	令和6～8年度の過去実績を検証し、本計画の振り返りおよび見直しを行った上でPDCAを回しながら次年度以降の保健事業を展開する。	過去実績を検証し、PDCAを回しながら保健事業を展開する。	過去実績を検証し、PDCAを回しながら保健事業を展開する。	※第2期データヘルス計画策定時に明確な事業目標を設定できていなかったため、本項目はSTEP2-1で記載した内容と同一とする。 予防接種への投資が発揮している費用対効果を確認するところから開始し、特に被保険者の休業状況に関しては事業主側とのコラボヘルスを進めるデータに活用する。	⑦インフルエンザ予防接種費用補助の費用対効果が確認できていない。	
インフルエンザワクチン接種率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：32% 令和7年度：35% 令和8年度：36% 令和9年度：37% 令和10年度：37% 令和11年度：38%)罹患による休業日数は見直し時にアウトプット指標を追加。補助申請数より算出												第2期データヘルス計画策定時に明確な事業目標の設定、過去データの収集が行えておらず、現時点で目標値を設定することが困難なため。(アウトカムは設定されていません)								
その他	7	既存	後発医薬品使用促進	全て	男女	0～74	基準該当者	1	ク,ス	-	ク	-	後発医薬品使用状況の把握、分析。	令和6年に取得したデータを活用し、適切な広報活動を行い後発医薬品使用率の増加へ繋げる。	前年度の課題を評価し後発医薬品使用率の増加へ繋げる。	令和6～8年度の過去実績を検証し、本計画の振り返りおよび見直しを行った上でPDCAを回しながら次年度以降の保健事業を展開する。	過去実績を検証し、PDCAを回しながら保健事業を展開する。	過去実績を検証し、PDCAを回しながら保健事業を展開する。	後発医薬品を利用していない人(がん等は除く)に対する広報活動を継続し、セルフメディケーションに関する理解促進を図る。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
後発医薬品使用率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：84% 令和7年度：84% 令和8年度：84% 令和9年度：85% 令和10年度：85% 令和11年度：85%)-												第2期データヘルス計画策定時に明確な事業目標の設定、過去データの収集が行えておらず、現時点で目標値を設定することが困難なため。(アウトカムは設定されていません)								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他